

## CT 撮影における標準化～GALACTIC～の有効活用

千葉市立海浜病院 放射線科 高木 卓

今日の診療において画像診断の役割は重要であり、なかでも CT 検査がその中心的な役割を担っていると言っても過言ではない。2010 年に日本放射線技術学会より叢書として発刊された「X 線 CT 撮影における標準化～ガイドライン GuLACTIC～」は、61 の部位・疾患別に詳細な CT 撮影方法を掲載し、検査の質の向上に大きな役割を果たした。昨年 9 月には初めての改訂が行われ、装置性能および検査技術の向上への対応、診断・診療ガイドラインとの連携強化、画質及び被ばく線量の最適化、Appendix の追加など大幅な見直しが行われた。

今回の講演では、「X 線撮影における標準化～GALACTIC～改訂 2 版」を臨床で有効に活用して頂くために、プロトコルのエビデンス、CT-AEC による画質設定、造影法、被ばく線量管理について詳細に解説を行う予定である。また、CT 検査の更なる精度向上のため、次回の改訂に向けた、「皆さんと取り組むべきこと」を考えていきたいと思えます。